

川棚小だより

学校教育目標

活力を持った思いやりのある子どもの育成

キャッチフレーズ『笑顔で登校 満足して下校』

第9号 h30.6.28 文責 山口 厚

心を見つめる教育週間 1



安心・安全教室 6月22日(金)

1年生に ALSOK の安心安全教室を行いました。知らない人や不審者についていかにないように頭文字をつなげてわかりやすくした「いかのおすし」を子どもたちにわかるように、具体的に説明していただきました。

例えば、女性や優しくなおじさん、怖そうなおじさん等を写真を並べて「この中で、ついて行ってはいけない人はだれ？」と尋ねられます。1年生は、概ね見目で判断して手を上げますが、「正解は、全員です。なぜなら、みんな知らない人だからです。」このようにわかりやすく教えていただきました。

命の講話 6月26日(火)

今年は、川棚警察署地域課のお巡りさん、荒木和智さんにお話をさせていただきました。荒木さんは、5月にあった不審者事案以降、毎朝、本校校門で立哨指導していただいている方です。

荒木さんは、同じく警察官であったお父様を子どもの頃、交通事故で亡くされています。荒木さんは、お父さんを覚えていないそうです。ですから、人一倍子どもを交通事故から守りたいという気持ちで、毎朝校門に立たたれているそうです。この1ヶ月以上、荒木さんは同僚の山戸さんとボランティアで立哨指導されています。本当にありがたいことです。



ブレイクタイム 1

～お気軽にお読みください。～



6月5日午後3時頃、長崎市内の路上で下校中の小学2年の女兒に後ろから近づき、スカートをめくりあげたり、ひっぱったりして転ばせ、両膝打撲などのけがをさせた疑いのある男が逮捕されました。

女兒が防犯ブザーを鳴らして助けを求め、容疑者は逃走。女兒の母親からの110番通報を受け・・・逮捕される(朝日新聞より)とありました。

女兒が、防犯ブザーを鳴らしたことにより助かったのです。表面に掲載しています1年生に行ったALSOKによる安全教室でも、いざというとき最初に、「防犯ブザーを鳴らす」ことを話されていました。

いざとなったときなかなか大声を出せない子もいます。長崎市の事案もあるように、万一に備え、防犯ブザーの携帯と使用について御家庭でもお子様と話題にしていただければありがたいです。

ブレイクタイム 2

～お気軽にお読みください。～



川棚警察署の荒木さんは、「みんなが元気よくあいさつしてくれるから私も元気をもらっています。みなさん、これからもあいさつをしてください。」と「あいさつの大切さ」も話されました。

私との会話でも、私が立哨指導のお礼を伝えるというと、

「みんなが元気よくあいさつしてくれるから、嬉しいんです。」と話されていました。あいさつの大切さがよくわかります。

お話の翌日、「今日は子どもたちのあいさつどうでしたか？」と私が尋ねると、

「今日は、みんなとってもあいさつしてくれました。」と嬉しそうに話していただきました。

